

富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議
平成 28 年度第 2 回人材育成専門部会（要旨）

1 日 時 平成 29 年 2 月 17 日（月） 15：30～17：15

2 場 所 富山県民会館 401 号室

3 説明事項

（1）平成 28 年度 富山県中小企業振興施策等について

（2）富山県ものづくり産業未来戦略雇用創造プロジェクト平成 28 年度の
取組み状況について

4 委員からの主な意見

【1. 技術革新について】

・人工知能や IoT、AI などへの関心が高まっており、今後労働力が人工知能や IoT にシフトしていくのではないかと。

・技術革新により、中小企業のものづくり現場は、今後数十年で大きく変わってくるので、先を見越して重点的に予算配分をしていただきたい。

・技術革新等により、5 年後 10 年後になくなる業種もあると思うので、今後必要になってくる業種について積極的に予算配分をしていただきたい。

・IoT 等は今後成長する分野であり、メリハリをつけて必要なところに予算を大胆に配分してはどうか。

【2. 人材の確保・育成】

・有効求人倍率については高倍率となっているが、それは全国どこでも同じである。職種別などさまざまな角度から分析をするべきである。

・学生にとって、就職が入学時からの最優先課題となっている。働き続けられる環境をつくるためには、一人ひとりに多様な生活の仕方、働き方、価値観があることを理解して、大学・企業・地域が連携していくことが必要である。

・県内企業のうち、製造業や建設業などで人手不足感がある。UターンやIターンを希望する人もいるので、UIJターンについては、今後もしっかり取り組んでほしい。

・新規学卒者の定着促進は重要だが、中途採用者の定着促進も必要。地域においても、例えば、異業種交流の場を設けるなど、ミスマッチを防ぐ取り組みをしてほしい。

- ・労働に関する知識を持たない学生が非常に多い。学生には働くという意識を持っていただきたい。

- ・女性が働きやすい職場は男性も働きやすい職場であるため、条件整備を進めていただきたい。

【3. 県の施策について】

- ・県には様々な補助金があるが、企業への支給を平等に行うとともに、中小企業の売り上げ増加につながっているか等成果を把握し、魅力ある中小企業の支援を行ってほしい。

- ・県の施策について、たくさん実施しているが、例えばシニア人材バンクのように富山労働局と連携して実施する方が効果的な事業もあると思うので、必要に応じて連携を検討していただきたい。

- ・雇用についても、60歳以上の再雇用や定年延長等、環境が変化しているので、投資（予算配分）をお願いしたい。

- ・企業の成長、生産性の向上が続かなければ働き方改革は続かないので、この2つを同時に進めなければならない。特に中小企業は大企業と比べても、支援がないと取組みが難しいと考えられる。